



第109号

発行人
(一財) 福井県剣道連盟
会長 片山外一

事務局
〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
サンライズニの宮 1-B
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp



ご挨拶

一般財団法人 福井県剣道連盟

会長 片山外一

新年明けましておめでとうございませう。昨年は世界中が新型コロナウイルス感染症の影響で、大変な年となりました。皆様におかれましては日常生活やお仕事の上でも、大変ご苦労されている最中ではなからうかとお察し申し上げます。幸い福井県では感染が比較的抑えられておりますが、これは偏に県民挙げての感染対策の徹底や節度ある自粛活動によるものであると思われまふ。今年には是非にもコロナを克服した明るい年になることを願つてやみませう。

さて、福井県剣道連盟では昨年役員を選定が行われ、副会長に河越氏が加わり、専務理事に西川氏、常務理事に堀江氏、坂本氏、山本氏が、新理事に岩本氏、上嶋氏、道内氏、松永氏が選定されました。また執行部会の中で、より機動的に活動できる様に総務企画運営部が立ち上げられ、前記4専務常務理事に加えて川野氏、岩本氏、堀江ユミ氏、道内氏の各理事が選定され、既に活発に動いておられます。一方、新型コロナウイルス感

染症の対策ですが、昨年三月にWHOのパンデミック宣言が発出された事を受けて、四月には国の緊急事態宣言、全日本剣道連盟からは「対人稽古自粛のお願い」が出されました。県剣道連盟も四月からの全活動を停止しましたが、全剣連に従い六月十日付で県剣連も「対人稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を制定しました。これはその後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて逐次見直されるものであり、九月十五日には「高校生の県外との交流（練習試合等）」における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」が発出されています。国体を始め全国大会も中止となつて来ましたが、本県では九月十九日に福井県剣道大会（中学校）が、各位のご協力の下で成功裏に執り行われた事は誠に喜ばしい限りであります。これまでの感染対策が当を得た物であり、剣道競技の安全性が十分に示されたと言えます。一月三十一日には全日本剣道選手権・女子選手権大会の県予

選会も行われ、男子の部では林田匡平選手、女子の部では大西ななみ選手がそれぞれ優勝、全日本剣道選手権・女子選手権大会への出場権を得られました。ニューノーマル時代の剣道はもう始まっています。春からワクチンの接種も始まりますし、広報部では上嶋部長を中心にホームページの刷新が行われる予定です、主に少年剣道の競技拡大を目指しています。

以上、今年には忙しくなりそうですが、コロナ禍をバネとして頑張る所存ですので、関係各位の更なるご理解とご支援をお願い申し上げます。



大会報告・行事報告

令和二年度
福井県スポーツ少年団剣道交流
大会(兼)南条地区剣道連盟創立
60周年記念剣道大会

令和二年十一月一日(日)
於：今庄中学校
大会結果は次の通り。

◎団体試合

- 一位 今立剣道スポーツ少年団
- 二位 敦賀市剣道スポーツ少年団
- 三位 木田剣道スポーツ少年団
- 三位 福井養正館B

◎個人試合

- 【中学生男子の部】
 - 一位 東海来夏 (福井養正館)
 - 二位 山川陽太郎 (福井養正館)
 - 三位 伊藤児太郎 (木田剣道スポーツ少年団)
 - 三位 宇野靖明 (今立剣道スポーツ少年団)

【中学生女子の部】

- 一位 山田優生 (今立剣道スポーツ少年団)
- 二位 窪田咲月 (鯖江剣道スポーツ少年団)
- 三位 上坂菜摘 (豊剣道教室)

第51回嶺南剣道大会

令和二年十一月三日(火・祝)
於：高浜町中央体育館
嶺南地区剣道連盟主催(大飯地区
剣道連盟主管)、福井県剣道連盟後
援の「第51回嶺南剣道大会」が十一
月三日(火・祝)、コロナウイルス
感染予防対策を行ったうえで開催さ
れました。大会結果は次の通り。

【小学生男子の部】

- 優 勝 福井養正館A
- 準優勝 敦賀市剣道スポーツ少年団
- 三 位 福井養正館B

【小学生女子の部】

- 優 勝 敦賀市剣道スポーツ少年団
- 準優勝 向笠・きらやまA
- 三 位 栗野剣道教室
- 三 位 剣誠館

【中学生男子の部】

- 優 勝 気比中学校A
- 準優勝 三方中学校
- 三 位 松陵中学校

【中学生女子の部】

- 優 勝 小浜第二中学校

三位 山下心優

(鯖江剣道スポーツ少年団)

- 準優勝 栗野中学校
- 三 位 三方中学校
- 三 位 高浜中学校

【一般男子の部】

- 優 勝 敦賀地区剣道連盟
- 準優勝 三方地区剣道連盟
- 三 位 大飯地区剣道連盟

【一般女子の部】

- 優 勝 大飯地区剣道連盟

【壮年の部】

- 優 勝 敦賀地区剣道連盟
- 準優勝 三方地区剣道連盟

【熟年の部】

- 優 勝 敦賀地区剣道連盟
- 準優勝 三方地区剣道連盟
- 三 位 大飯地区剣道連盟

令和二年度
福井県高等学校剣道新人大会

令和二年十一月十四日(土)
～十五日(日)
於：福井県立武道館
大会結果は次の通り。

【男子団体】

- 優勝 敦賀高校
- 二位 丸岡高校
- 三位 敦賀気比高校

三位 北陸高校
※前記4校と、福井工業大学附属福
井高校、美方高校は北信越新人大会
出場



女子団体優勝の
敦賀高校



男子団体優勝の
敦賀高校

【女子個人】

- 優勝 敦賀高校
 - 二位 丸岡高校
 - 三位 金津高校
 - 三位 福井工業大学附属福井高校
- ※前記4校は北信越新人大会出場

【男子個人】

- 優勝 奥村龍也(敦賀高)
- 二位 宇野竜明(敦賀高)
- 三位 前田絢翔(北陸高)
- 三位 刀根徹平(敦賀気比高)

令和二年十一月二十三日（月・祝）
 於：敦賀市総合運動公園体育館
 敦賀市剣道連盟主催（県剣連など
 後援）の標記少年剣道大会が十一月
 二十三日（月・祝）、敦賀市総合運動
 公園体育館で、県内のスポーツ少年
 団、剣道教室、道場から40チームが
 参加して開催されました。例年は勝
 ち抜き試合でしたが、コロナ感染拡

**第39回敦賀市長旗争奪
 福井県少年剣道錬成敦賀大会**

- 【女子個人】
 優勝 松本佳子（敦賀高）
 二位 青池玖瑠美（敦賀高）
 三位 梅原陽乃（敦賀高）
 三位 木村真理子（敦賀高）



大予防から開催時間短縮を考慮して、
 対戦試合で行いました。事前健康チエツ
 ク表の提出、検温後の入館、各所に
 アルコール消毒液設置、アリーナへ
 の入場制限、各団体ごとの観客席指
 定、十三時終了目指して昼食時間を
 設けない（館内での飲食禁止）、審
 判はマイ審判旗持参など、出来る限
 りのコロナ感染予防に取り組んでの
 開催でした。今後の少年剣道大会の
 参考になる運営方法でした。

記：向井俊博

- 優 勝 福井養正館 A
 準優勝 鯖江剣道スポーツ少年団 A
 三 位 越前少年剣道クラブ A
 三 位 福井養正館 B
 敢闘賞 向笠剣道スポーツ少年団
 敢闘賞 木田剣道スポーツ少年団 A
 敢闘賞 敦賀市剣道スポーツ少年団 A
 敢闘賞 福井今立道場 A



優勝の福井養正館 A

今年度、剣道人口の増加を目的と
 して普及部が新設されました。剣道
 未経験者の県内の子供たちやその保
 護者の方々に、剣道の楽しさを伝え
 る「剣道体験コーナー」を開設した
 り、パパママ剣士が稽古に参加しや
 すい環境をつくったり、過去に剣道
 経験のある方々の稽古の再開を支援
 したりする企画・運営を行います。
 今回は、その最初の取り組みとして、

**令和二年度
 第1回剣士普及活動**

令和二年十一月二十三日（月・祝）
 於：敦賀市総合運動公園体育館
 サブアリーナ



三位の越前少年剣道クラブ A
 三位の福井養正館 B



準優勝の
 鯖江剣道スポーツ少年団 A

第39回敦賀市長旗争奪福井県少年剣
 道錬成敦賀大会が開催される中、同
 体育館内の隣の会場で、女性部と協
 力して「体験コーナー」を実施しま
 した。広報については、事前に各地
 区剣道連盟への案内や県剣連ホーム
 ページに情報を掲載し、福井新聞社
 には開催についての記事を掲載して
 いただきました。また、コロナ感染
 防止対策として「剣道体験教室にお
 ける新型コロナウイルス感染拡大予
 防ガイドライン」を周知し、施設管
 理者の指導の下、対策を徹底して実
 施しました。

「体験コーナー」の内容は、柔ら
 かいボールを竹刀でドリブルしたり、
 タイヤを竹刀で打ったり、剣道具を
 着装した元立ちに対して面小手胴を
 竹刀で打って紙風船を割ったり、お
 もちゃの剣を使って基本技稽古法
 のように動くなどの、小さいお子様で
 も取り組みやすい楽しい剣道遊びと
 しました。また会場の雰囲気を感じ
 上げるために、超人気アニメのテー
 マソング等をBGMにして、活発に
 運動できるよう工夫しました。さら
 に、保護者の方々には体験後に県内
 の少年剣道教室一覧のチラシを配布
 して、地元の教室を紹介しました。
 今回の参加者は、幼12名、小学校
 低学年14名、小学校高学年4名、保
 護者30名でした。指導者の先生方は、

空中に浮かせた風船を打たせたり、バウンドさせたボールを踏み込み足で打たせたりして、スモールステップで取り組ませ、声援や拍手を送り、子供たちは生き生きとトライしていました。また、面に付けた紙風船を竹刀でたたき割る場面では、上手に打てれば「パーン」という快い音が出るので大変人気のある体験となりました。参加者から「楽しかった!!」との声を聞いたたびに手ごたえを感じました。当日大会に出場している指導者の方々や保護者の方からは、すでに地元の教室でも実施しているとお話もありました。是非、他の地区剣連や教室でも楽しい体験会を企画・運営して、会員の募集につなげていただければと思います。

普及部では「体験コーナー」を県内の少年剣道大会時や、県のスポーツフェスタなどに合わせて実施したり、また「パパママ稽古会」や「親子での稽古会」などを企画して、同会場で同時開催できればと考えています。今回の課題を踏まえて、コロナ禍ではありますが、各方面の意見や他のスポーツの普及活動を参考にしながら、盛り上げていきたいと思えます。

会員の皆様には、お知り合いの保護者および剣道経験者の方々に剣道の魅力や楽しさを伝えていただき、



参加した子供の打ち込みの様子

ますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この場をお借りして、お忙しい中、今回ご協力をお願いいただいた関係者および指導者の皆様に心より感謝申し上げます。

【当日の指導者】

- ・担当役員 西川謙、堀江範雄
- ・普及部 山本英俊、坂本裕一郎、田中秀幸、小寺みゆき、大味香代子、(相模宏二郎、山田聖子)、女性部 堀江ユミ、松井香里、安原真紀、岡田恵子、和田克枝、江指恵

記：山本英俊

第54回福井県少年剣道錬成大会

令和二年十二月十三日(日)

於：福井県立武道館

福井県剣道連盟主催の「第54回福井県少年剣道錬成大会」が十二月十三日(日)、県内の32チームが参加し

て福井県立武道館で行われた。コロナ感染予防のガイドラインに沿って、団体戦のみの実施となった。大会結果は次の通り。

優勝 鯖江剣道スポーツ少年団
二位 福井今立道場
三位 越前少年剣道クラブ
三位 福井養正館



優勝の鯖江剣道スポーツ少年団



準優勝の福井今立道場

第23回宮川旗争奪中学生剣道選抜錬成大会

令和二年十二月十三日(日)

於：敦賀高校体育館

敦賀高校剣道部OB会主催(敦賀

高校剣道部育成会共催)、福井県剣道連盟、敦賀市剣道連盟等後援の「第23回宮川旗争奪中学校剣道選抜錬成大会」が十二月十三日(日)、敦賀高校体育館で県内14中学校が参加して開催された。例年は近畿地区、中京地区、北信越地区などからの参加もあるが、今年はコロナ感染予防のため県内中学校限定の参加とし、コロナ感染予防のガイドラインに沿って実施した。

大会結果は次の通り。

【男子団体】

- 優勝 気比中学校(敦賀市)
- 二位 三方中学校(若狭町)
- 三位 武生第六中学校(越前市)
- 三位 明倫中学校(福井市)
- 最優秀マナー校 鯖江中学校(鯖江市)



男子団体優勝の気比中学校

【女子団体】

優勝 鯖江中学校 (鯖江市)

二位 しあわせ選抜チーム (県内中学校から選抜)

三位 中央中学校 (鯖江市)

三位 武生第二中学校 (越前市)

最優秀マナー校

武生第一中学校 (越前市)



女子団体優勝の鯖江中学校

剣道審判講習会

令和二年十二月二十日(日)

於：福井県立武道館

全日本剣道連盟では、八月に策定した「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」の遵守に併せて、特に「鏝競り合い」及び意図的な「時間空費」や「防御姿勢」(勝負の回避)による接近する行為についての見解や方針について、全国的に統一した内容を伝達すること

を目的に、全国九か所においてブロック別試合・審判研修会を行いました(北陸ブロックは十二月十二日に富山県で開催)。

今回、北陸ブロック研修会に参加されました堀江範雄先生、西川譲先生、柳原潤一郎先生を講師として、剣道審判講習会が開催されました。講習会には、全日本剣道選手権大会・同女子選手権大会県内予選会の審判予定者や各地区剣道連盟代表者など22名が参加しました。

講習会では、はじめに柳原先生から「コロナ禍における暫定的な試合・審判法について」の講義があり、その後、3人の講師の先生により、参加者が交替で行う模擬試合に対する審判員の実技指導を行いました。参加者からは、試合の各場面に応じた判断について、積極的な質疑がなされました。

全日本剣道連盟から示された「新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判法」の主な内容は以下のとおりです。

- 1、新型コロナウイルス感染症が終息するまでは、暫定的な試合・審判法を感染状況を踏まえながら、大会毎に大会実施要領に定める。
- 2、試合時間の短縮、延長戦は区切って行い休憩を取り入れる等、マスク着用による熱中症対策を積極的に取

り入れる。

3、試合者は、鏝競り合いを避ける。接触した瞬間の引き技、及び体当たりからの技(発声を含む)は認める。やむを得ず鏝競り合いとなった場合、試合者はただちに分かれる。審判員は鏝競り合いを解消しない場合には、ただちに「分かれ」を宣告する。また①意図的な「時間空費」②「防御姿勢」(勝負の回避)による相手に接近するような行為は、試合審判規則第1条に則り反則と判断する。

記：坂本裕一郎



第43回中部地区 剣道少年団研修会 結果報告

剣道を通して学んだことを作文で発表する「第43回中部地区剣道少年団研修会」が十二月に、三重県剣道道場連盟主管で行われた。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、発表審査ではなくビデオ審査となり、十月の福井県予選会で最優秀賞に選ばれた小学生の部の常田和太郎君(福井養正館、中央小六年)、中学生の部の奥田心優さん(福井養正館、松陵中一年)が福井県代表として同研修会で審査を受けた。常田君は「最高学年とは」、奥田さんは「私の心の支え」と題し、日々の鍛錬で感じたことを動画で発表した。このほど審査結果報告があり、小学生の部で常田君が最優秀賞、中学生の部で奥田さんが優良賞を受賞した。

発表審査ではなくビデオ審査となり、十月の福井県予選会で最優秀賞に選ばれた小学生の部の常田和太郎君(福井養正館、中央小六年)、中学生の部の奥田心優さん(福井養正館、松陵中一年)が福井県代表として同研修会で審査を受けた。常田君は「最高学年とは」、奥田さんは「私の心の支え」と題し、日々の鍛錬で感じたことを動画で発表した。このほど審査結果報告があり、小学生の部で常田君が最優秀賞、中学生の部で奥田さんが優良賞を受賞した。

記：向井俊博



小学生の部 最優秀賞受賞の 常田和太郎君



中学生の部 優良賞受賞の 奥田心優さん

河越純二副会長 県スポーツ協会スポーツ功労者賞を受賞

令和二年度の「公益財団法人福井県スポーツ協会 スポーツ功労者賞」に、県内15団体19名の方が選ばれ、福井県剣道連盟から、河越純二副会長が受賞されました。一月二十二日（金）に福井フェニックスプラザで行われた表彰式において、表彰状が授与されました。



福井県中学校冬季強化練成会

令和三年一月三十日（土）

於：敦賀市総合運動公園体育館
令和二年度福井県中学校冬季剣道強化錬成大会が一月三十日（土）、

敦賀市総合運動公園体育館で男子16校、女子13校が参加し開催された。大会結果は次の通り。

【男子の部】

- 優勝 武生第六中学校（越前市）
- 二位 気比中学校（敦賀市）
- 三位 鯖江中学校（鯖江市）
- 三位 南越中学校（越前市）



男子団体優勝の武生第六中学校



女子団体優勝の鯖江中学校

【女子の部】

- 優勝 鯖江中学校（鯖江市）
- 二位 中央中学校（鯖江市）
- 三位 栗野中学校（敦賀市）
- 三位 武生第二中学校（越前市）

第68回全日本剣道選手権大会・第59回全日本女子剣道選手権大会 福井県予選会

令和三年一月三十一日（日）

於：福井県立武道館
一月三十一日（日）に福井県立武道館で開催されました「第68回全日本剣道選手権大会・第59回全日本女子剣道選手権大会 福井県予選会」の試合結果は次のとおりです。

男子の部優勝の林田匡平選手、女子の部優勝の大西ななみ選手は、三月十四日（日）に長野県（ホワイトリング長野市真島総合スポーツアリーナ）で開催される第68回全日本剣道選手権大会、第59回全日本女子剣道選手権大会の福井県代表選手として、それぞれ選考されました。

林田選手は二年ぶり三回目、大西選手は三年連続六回目の選手権出場となります。試合後、「両選手とも「優勝目指して頑張ります！」と意気込みを語りました。

記：坂本裕一郎

【男子の部】

- 優勝 林田匡平（学剣連）
- 二位 富田成慈（鯖江地区）
- 三位 楠原北斗（福井地区）
- 三位 渡邊龍二郎（学剣連）



優勝した林田匡平選手と大西ななみ選手

【女子の部】

- 優勝 大西ななみ（学剣連）
- 二位 堤腰琴菜（敦賀地区）
- 三位 篠崎美里（福井地区）
- 三位 川端心愛（南条地区）



熱戦が繰り広げられた予選会



みんなの広場

大野市剣道教室

この度、全日本剣道連盟より令和元年度「少年剣道教育推奨賞」を賜り深く感謝申し上げます。受賞にあたり福井県剣道連盟の多くの先生方からの温かいご推薦をいただきまして、誠にありがとうございます。大野市剣道連盟会員並びに少年剣道教室の子どもたちも喜びと共に感謝致しております。受賞を機に益々精進してまいります。

昭和二十八年に大野市剣道連盟が設立され、同じくして少年剣道教室も発足し、一般・小学生・中学生合同での稽古が週3回行われていました。小・中学生は剣道具を付けない基本稽古が主体でした。設立から約六十七年間、長い歴史のなかで指導いただいた先生方のご苦労は計り知れないものがあつたと思います。今ここに大野市剣道教室を継承できていることに感謝したいと思います。平成六年、大野市剣道教室として新たにスタートした教室は、福井県の奥越地方にあります。長閑な城下町は北陸の小京都とも呼ばれ、山々に囲まれた大野盆地は水が綺麗で今

剣道部 クラブ紹介

も生活用水としても使われ、いたる所で湧き水（御清水と呼ばれております）が出ており天然記念物の「いとよ」も生息しております。こんな素晴らしい環境の中で剣道ができる子供たちは最高に幸せだと思います。

心構えとして、稽古の時はもちろん学校や家庭においても「元氣よく大きな声で挨拶ができるように」と指導しております。また、諸先生から贈られた団旗には「勤勉・正直・感謝」と書かれ、子供たちにとっては良い励みになっていると思います。

稽古は毎週火曜日と金曜日の二回、午後七時から午後九時までの二時間です。基本稽古が中心で特に素振りには時間をかけております。また「木刀による剣道基本技稽古法」も取り入れ、特に四年生以上の子供たちには竹刀と木刀の違いを感じてもらい、技の習得につながるよう指導しております。面を付けての稽古も基本を重点に掛かり稽古、互角稽古と手順に沿って行っております。試



合に対しては、勝ち負けにこだわらず日々の稽古の成果が発揮できることで結果がついてくるものと信じております。

これからは、少子化問題や低学年の指導方法などが課題になるかと思えます。剣道の素晴らしさ、約束の大切さを子供たちに伝えていくため、多方面の先生方のお話を聞かせていただきながら、これからも努力をさせていただきます。

いりますので、これまで以上のご指導をよろしくお願い致します。

最後に令和二年二月までは平穏な毎を送り子供たちも一生懸命稽古、勉学に励んできましたが、三月に入り、新型コロナウイルスの影響で生活環境が一変、多くの行事に自粛が求められるようになり、六年生にとつては卒業式が満足な形で行われず寂しく辛い思い出になってしまいました。稽古は再開されましたが、いつ終息するかわからない中、子供たちには安全と健康に注意を払いながら、これからも頑張つてまいります。

記：金森三喜夫

剣道 称号段位合格者

令和二年十一月二十二日(日)
於：福井県立武道館

十一月二十二日(日)、県立武道館にて今年度2回目の剣道形講習会・剣道段位審査会が開催された。今回も八月の第1回同様、新型コロナウイルス感染症予防対策として、受審者には入館時の検温、手指の消毒、下足ビニール袋の配付が行われた。午前中の形講習会及び形審査会は、剣道大道場・小道場、柔道大道場・小道場の4か所に分かれ行い、午後から剣道大道場で実技試験が行われた。学科試験も事前に問題が公開され、受付時に提出する形式がとられた。合格者は次の通り。

「初段」 四十八名

- 堀 江 隆 介 (足羽一中一年)
- 藤 井 凱 斗 (中央中一年)
- 岸 本 掌 (鯖江中一年)
- 岸 本 心 (鯖江中一年)
- 田 中 悠 唯 人 (藤島中一年)
- 森 池 秋 良 (鯖江中一年)
- 内 田 達 基 (丸岡南中一年)
- 大 谷 悠 介 (森田中一年)
- 福 岡 大 和 (足羽一中一年)
- 前 田 耀 太 郎 (至民中一年)

松村 愛香 (中央中二年)
 辻野 愛菜 (足羽一中二年)
 水野 真愛 (鯖江中二年)
 西出 文樹 (武生一中二年)
 白石 杏早 (進明中一年)
 大石 はな (明倫中一年)
 平野 一恋 (松岡中一年)
 佐野 咲 (進明中一年)
 杉本 万智 (春江中一年)
 田中 美來 (武生一中二年)
 山下 華音 (福井中一年)
 高橋 斗聖 (森田中一年)
 平井 琉聖 (藤島高一年)
 脇本 一天 (三国中二年)
 小川 陸人 (明倫中二年)
 小林 亮 (今庄中二年)
 柳川 恭心 (松陵中二年)
 福田 優瑛 (今庄中二年)
 西尾 善瑛 (鯖江中二年)
 城野 智紀 (今庄中二年)
 村井 遥哉 (春江中二年)
 村上 直緒 (今庄中二年)
 村直 寛人 (丸岡中一年)
 下藤 児太郎 (明倫中一年)
 伊藤 悠誠 (武生一中二年)
 山本 紀仁 (南越中一年)
 山谷 圭治朗 (高志中一年)
 奥平 大貴 (丸岡中一年)
 野坂 怜央 (明倫中一年)
 吉田 幸器 (足羽一中一年)
 山口 範登 (南越中一年)
 高嶋 佑和 (足羽一中二年)

高村 奈那美 (足羽一中二年)
 林 真緒 (鯖江中二年)
 小澤 瑞記 (足羽一中二年)
 阿部 日向 (鯖江中二年)
 荒川 穂花 (足羽一中二年)
 向川 元 (藤島高二年)

〔三段〕四十四名
 西出 隼斗 (三国中二年)
 山口 颯太 (森田中二年)
 高山 蒼 (至民中二年)
 小不動 湧大 (気比中二年)
 直江 柊羽 (森田中二年)
 山川 陽太朗 (気比中二年)
 竹澤 開翔 (松岡中二年)
 稲垣 天翔 (武生一中二年)
 高木 文天 (武生一中二年)
 山崎 文太 (菅原中二年)
 田中 光翼 (武生一中二年)
 廣中 春親 (東陽中二年)
 吉田 幸路 (高志中二年)
 笹原 壮瑠 (菅原中二年)
 石川 新太郎 (大東中三年)
 三崎 敬汰 (東陽中三年)
 高橋 啓太 (松陵中三年)
 廣部 倫大 (藤島高一年)
 竹歳 拓実 (福井高一年)
 下 晴人 (福井高一年)
 村中 啓悟 (藤島高二年)
 笹木 祐輝 (北陸高二年)
 三田村 裕次郎 (藤島高二年)
 水野 桂吾 (学習院大四年)

伊藤 康孝 (教員)
 布目 大介 (会社員)
 平田 慈将 (会社員)
 森川 沙恵 (明倫中二年)
 荒屋 瑠奈 (坂井中二年)
 山田 優生 (南越中二年)
 池田 心海 (中央中二年)
 永棹 結希 (金津中二年)
 岸本 歩愛 (武生一中二年)
 西山 実咲 (中央中二年)
 佐竹 未羽 (武生一中二年)
 青木 優花 (中央中二年)
 中根 詩彩 (坂井中二年)
 杉本 和香 (松陵中三年)
 遠藤 晃 (高志中三年)
 佐々木 実釉 (丸岡高一年)
 本田 柚舞 (北陸高一年)
 荒屋 璃奈 (丸岡高一年)
 齊藤 成美 (金津高一年)
 吉田 莉捺 (福井高一年)

〔参段〕十七名
 松本 宗 (福井高二年)
 井上 賢史郎 (福井高二年)
 小石川 拓真 (鯖江高二年)
 明賀 仙太郎 (福井高二年)
 辰川 凌哉 (鹿島朝日高年)
 山本 雄太 (福井高二年)
 長谷川 天 (羽水高三年)
 石水 走天 (坂井高三年)
 菱川 航太 (福井工大一年)
 平口 康介 (福井工大一年)

菅田 秀幸 (会社員)
 高橋 興治 (会社員)
 三好 なつき (福井高二年)
 砂長谷 結羽 (啓新高二年)
 望月 未来 (福井高二年)
 宇野 光咲 (福井高二年)
 笠嶋 璃奈 (福井工大二年)

〔四段〕七名
 伊藤 こよみ (福井工大三年)
 上中 虹輝 (福井工大三年)
 荒井 悠太 (公務員)
 木瀬 芳江 (自営業)
 大下 和宏 (会社員)
 日高 太三 (会社員)
 篠島 清修 (医師)

〔五段〕二名
 大森 豪 (自営業)
 田中 隆佳 (会社員)

剣道六段以上合格者
 剣道七段 加藤 昌広 (鯖江地区)
 剣道七段 竹下 昌文 (福井地区)
 令和二年十一月十四日(土)
 於：名古屋市

剣道六段 藤本 努 (敦賀地区)
 令和二年十一月十五日(日)
 於：名古屋市

剣道称号合格者

剣道教士 和田 真吾

(越前地区)

剣道教士 河原 德行

(三方地区)

剣道教士 四ツ木善一

(南条地区)

令和二年十一月二十四日(火)

於：東京都

福井県剣道連盟より

公式ホームページ

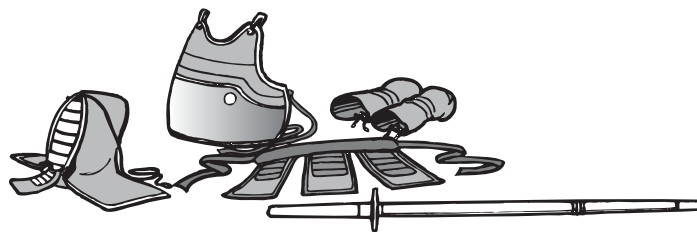
リニューアルについて

のお願い

福井県剣道連盟は公式ホームページのリニューアルを進めています。

連盟会員のみなならず、剣道を始めてみたい、ブランクがあるけどまた再開したいと考えている方、またお子様に剣道を習わせたいと思っっている保護者の方などにも、役に立つ情報を迅速に公開することを目指しています。各地区連盟の情報もアップしますので、情報の提供にご協力をお願いします。

私たちは「福井県の剣道」を応援しています



《福井県剣道連盟 賛助会員》

- | | |
|-------------------|-----------------|
| (株)マルツホールディングス 様 | 医療法人 保仁会泉ヶ丘病院 様 |
| (株) 法 美 社 様 | メディアボックス(株) 様 |
| 大 栄 電 設 工 業 (株) 様 | 千寿会医療福祉グループ 様 |
| 医療法人 相 木 病 院 様 | ノザキモーター 様 |
| (株) ア イ ビ ッ ク ス 様 | いづみ観光バス(株) 様 |
| カ ラ ヤ (株) 様 | |
| 衆議院議員 稲田 朋美 様 | 参議院議員 山谷 えり子 様 |
| 高 森 政 義 様 | 岩 崎 貞 夫 様 |
| 鶴 田 裕 一 様 | |

(一財)福井県剣道連盟は、剣道連盟の活動にご理解とご協力をいただける個人・団体・企業様を募集しています。

■年会費	個人会員	1口	10,000円
	公益または公益に準じる事業を目的とする団体	1口	10,000円
	企業等	1口	30,000円

- 特 典
- ①当連盟の開催する大会の案内
 - ②当連盟のホームページへの掲載
 - ③当連盟の事業計画・収支予算・収支決算報告書の提供
 - ④当連盟の事業に対して意見を述べる
 - ⑤剣道だよりへの掲載
 - ⑥当連盟主催大会のプログラムへの掲載

■申し込み (一財)福井県剣道連盟事務局までご一報ください
 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
 TEL・FAX: 0776-28-6616 e-mail:fkikendo@herd.ocn.ne.jp

ペンリレー

女性剣士の部屋

岸本 和嘉子

(栗野中学校 教諭)

剣道との出会いは中学一年生のとき、入部先を決めるための部活動見学で、何の気なしに剣道場を訪れたのが始まりでした。スポ少での経験があるわけでも、運動が得意なわけでも、勝負事が好きなのわけでもありません。剣道をやろうと思ったのは、美しさを感じたからでした。直線的な動き、無駄のない所作。自身は未だ「美しい剣道」には辿り着きませんが、始めたときからずっと憧れているものです。

中学・高校・大学と十年間剣道部に所属しましたが、剣道のセンスはなく、体力も技術もなく、特に高校時代は稽古についていくだけで精一杯でした。周りは小学生のころから厳しい稽古を積んできた者ばかり。こんなやつと組んでも練習にならないだろうと、いつもどこか申し訳ない気持ちでいたように思います。もちろん団体メンバーにはなれず、個人戦でも勝った記憶はほぼありません。後に高校時代の恩師から「和嘉子が公式戦で初めて勝ったときは嬉しかった」と言われても、いつの話か思い出せないほどです。とにかく毎日が必死で、勝ちたいとか強くなりたいとか、正直に言えばそんなことは考えていませんでした。ただ、稽古中は誰よりも声を出していた。それだけは誇ることができます。

大学卒業後は講師を経て中学校教員となりましたが、部活動顧問として剣道にかかわることはありませんでした。物理的にも心理的にも、少し離れたところから剣道部を応援する日々。今年度、現任教への異動によって、

実に十年ぶりに剣道部に戻ってきました。初めて剣道を指導する側に立ち、自分の引き出しの少なさと言うことを聞いてくれない体に愕然とします。何とかせねばと目の前の部員たちに向き合っています。彼らは、あのころの私とは違って、「勝ちたい」「強くなりたい」という思いで体育館に入ってきました。だから、今の私の課題は、自分の経験を提供するのではなく、彼らの思いに応える指導のあり方を見つけることです。とても苦手なことなのですが、思考の幅や視野を広げて、指導者として成長していきたいと思っています。



栗野中学校剣道部員と共に
(前列左端が岸本さん)

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮 1-B
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL・FAX(0776)28-6616